

県内経済動向調査結果（平成22年10月分）

平成22年12月10日
企業活性化・雇用緊急対策本部
（産業政策課）

概況

県内経済は、製造業を中心に持ち直しの動きが続いているものの、改善の動きが鈍化してきており、総じて厳しい状況が続いている。また、このところの円高等による影響も懸念される。

主な業種	状況
製造業	持ち直しの動きが続いているものの、改善の動きが鈍化してきている。また、円高等による影響も懸念される。 生産額、受注額はそれぞれ前年同月比9.4%増、同11.5%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲20.9から▲30.6となった。
建設業	公共工事の減少により弱めの動きが続いている。 受注額、完工高はそれぞれ前年同月比14.8%増、同26.2%増となった。3カ月先の業況見通しDIは▲31.3から▲56.3となった。
小売業	引き続き家電の売れ行きが好調である。 売上高は前年同月比1.6%増、3カ月先の業況見通しDIは▲13.8から▲50.0となった。
サービス業	運輸業が引き続き好調である。 売上高は前年同月比9.7%増、3カ月先の業況見通しDIは▲21.4から▲39.3となった。

製造業の動向

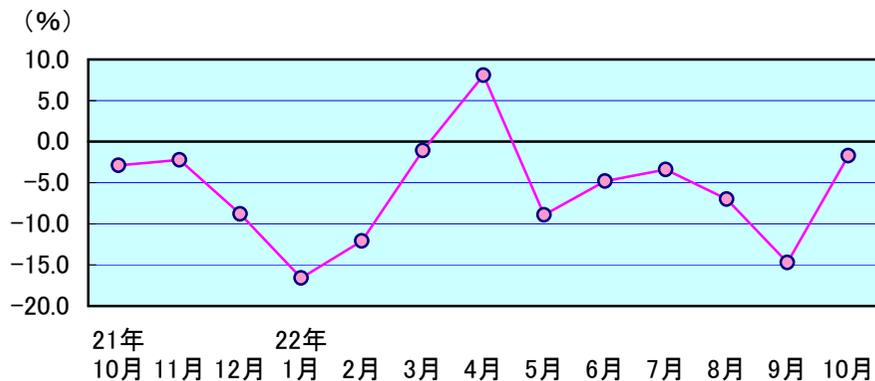
1 食料品

弱めの動きとなっている

生産額は前年同月比1.7%減。3カ月先の業況見通しDIは▲20.0から▲46.7となった。

一部食品加工業において売上額が前年同月を上回っているものの、ほとんどの酒類製造業において売上額が前年同月を下回っており、全体としては低調な動きが続いている。

食料品生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
食料品	-2.9	-2.2	-8.8	-16.6	-12.1	-1.1	8.1	-8.9	-4.8	-3.4	-7.0	-14.7	-1.7

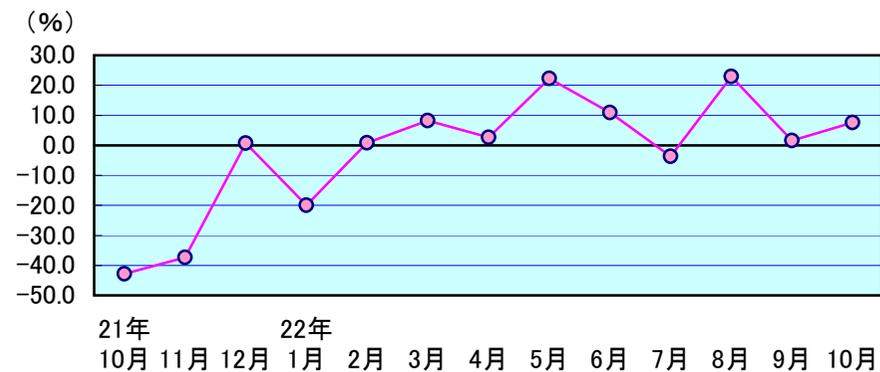
2 繊維・衣服

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比7.6%増、同6.1%増。3カ月先の業況見通しDIは16.7と横ばいであった。

一部企業で冬物衣料の受注が好調となるなど、全体としても生産額が前年同月を上回っているが、依然として一昨年水準には達しておらず、総じて見れば弱めの動きが続いている。

繊維・衣服生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
繊維・衣服	-42.8	-37.3	0.7	-20.0	0.8	8.2	2.7	22.3	10.9	-3.7	22.9	1.6	7.6

3 木材・木製品

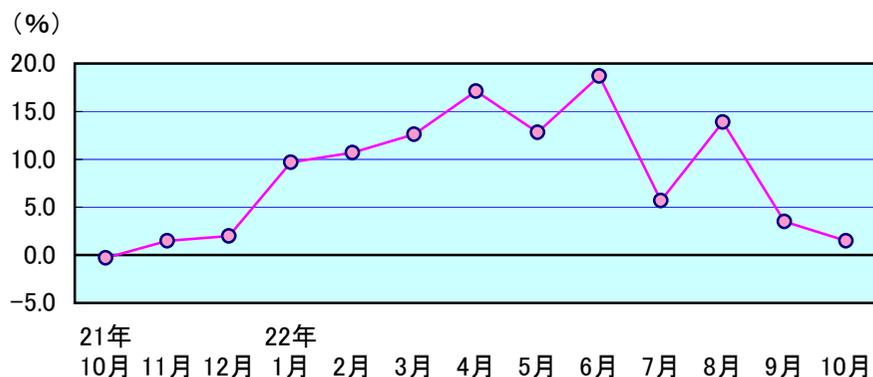
横ばいとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比1.5%増、同9.9%増。3カ月先の業況見通しDIは8.3から▲41.7となった。

合板において、一部企業で販売単価が値上がりしたことから、全体の生産額が前年同月を上回っている。

なお、県内の新設住宅着工戸数は2カ月連続で前年同月を下回るなど依然として低水準であり、住宅市況の落ち込みが懸念される。

木材・木製品生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
木材・木製品	-0.3	1.5	2.0	9.7	10.7	12.6	17.1	12.8	18.7	5.7	13.9	3.5	1.5

4 鉄鋼・金属製品

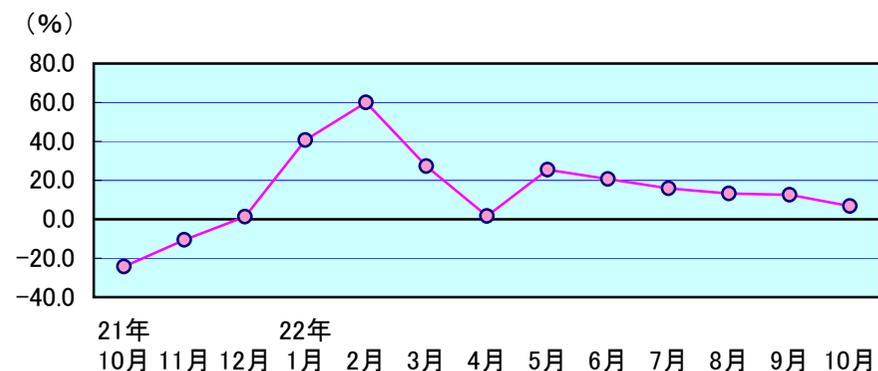
弱含みとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比6.8%増、同6.2%増。3カ月先の業況見通しDIは▲9.1と横ばいであった。

機械関連や鋼管関連の一部企業で受注が好調に推移しており、生産額が前年同月を上回っているものの、産業設備関連の一部企業では受注件数の減少などから、前年同月でマイナスの状況となっている。

総じて見れば、一昨年の生産額を依然として下回っており、弱含みの状況が続いている。

鉄鋼・金属生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
鉄鋼・金属	-24.3	-10.5	1.3	40.6	60.0	27.3	1.7	25.5	20.7	15.9	13.3	12.6	6.8

5 一般機械

弱めの動きとなっている

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比35.3%減、同23.1%増。3カ月先の業況見通しDIは12.5から0.0となった。

産業機械設備や工作機械などで受注動向が思わしくなく、全体的にも生産額が前年同月を下回っており、弱めの動きが続いている。

一般機械生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
一般機械	-4.2	-3.8	-39.2	-29.6	-21.4	-10.5	-21.6	5.5	-4.7	-10.4	-21.8	-17.9	-35.3

6 電気機械

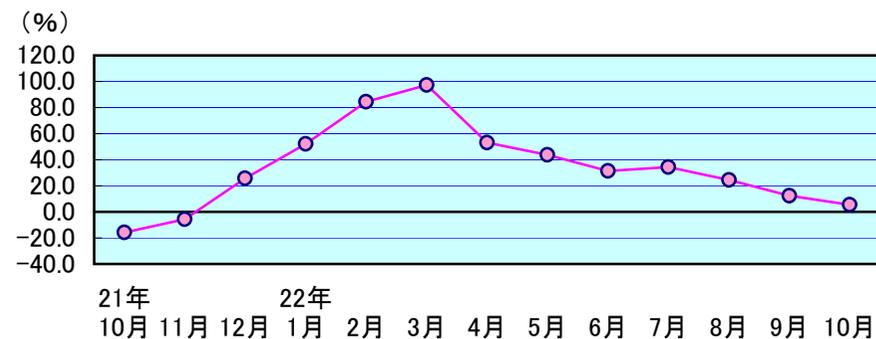
強含みとなっている

生産額、受注額は、それぞれ前年同月比5.5%増、同5.8%増。3カ月先の業況見通しDIは▲70.0から▲63.2となった。

電子部品組立関連などで生産額が堅調に推移しているものの、海外製品へのシフトにより受注が減少している企業が見受けられるなど、全体的に改善の動きは鈍化してきている。

また、円高による影響も懸念される。

電気機械生産額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気機械	-15.9	-5.7	25.6	52.0	84.5	97.2	53.1	43.6	31.4	34.4	24.5	12.4	5.5

7 輸送機械

回復基調が続く

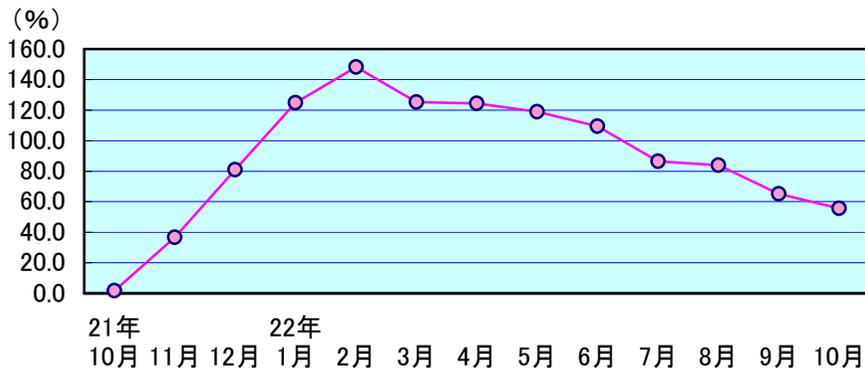
生産額、受注額はそれぞれ前年同月比55.6%増、同54.9%増。3カ月先の業況見通しDIは▲50.0から▲33.3となった。

引き続き、生産額は堅調に推移している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いている。

しかし、3カ月先の見通しについて、国の補助事業終了に伴う生産量の減少が懸念される。

輸送機械生産額前年同月比



	21年			22年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
輸送機械	1.6	36.7	80.9	124.8	148.1	125.3	124.4	118.8	109.5	86.5	83.9	65.1	55.6

8 精密機械

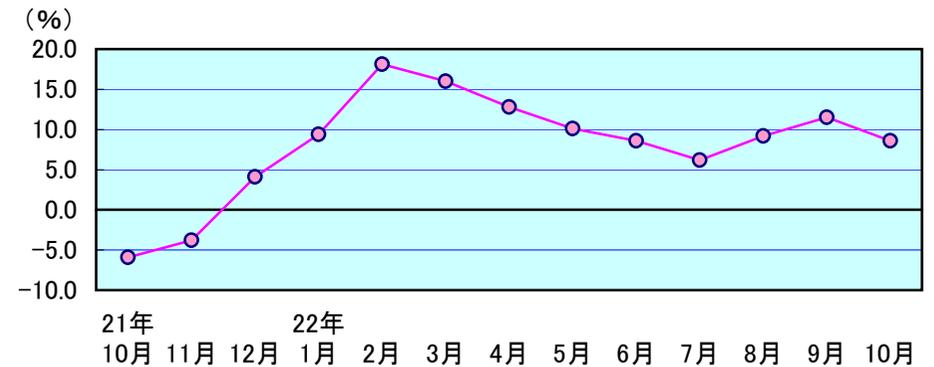
回復基調が続く

生産額、受注額はそれぞれ前年同月比8.6%増、同3.4%増。3カ月先の業況見通しDIは0.0と横ばいであった。

光ファイバー関連部品やデジタルカメラ関連部品、医療関連商品など、総じて生産額が増加している。

また、一部企業では一昨年を上回る生産額となるなど、回復基調が続いており、総じて好調に推移している。

精密機械生産額前年同月比



	21年			22年									
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
精密機械	-5.9	-3.8	4.1	9.4	18.1	16.0	12.8	10.1	8.6	6.2	9.2	11.5	8.6

建設業の動向

建設業

公共工事の減少により弱めの動きが続いている

受注額、完工高はそれぞれ前年同月比14.8%増、同26.2%増。3カ月先の業況見通しDIは▲31.3から▲56.3となった。

一部企業で受注額が前年同月を大幅に上回っているものの、全体的な公共投資は減少傾向にあることから、弱めの動きが続いている。

建設業受注額前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
建設業	-28.2	4.7	-21.5	58.5	-12.5	31.3	4.7	-62.0	-3.8	-18.5	81.9	-38.5	14.8

小売業の動向

1 衣料品

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月比1.1%減。3カ月先の業況見通しDIは20.0から▲50.0となった。

一部企業で秋物衣料に動きがあり、売上額が前年同月を上回っているものの、全体としては売上額が前年同月を下回っており、総じて厳しい状況が続いている。

衣料品売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
衣料品	-6.2	-16.6	-14.4	-10.3	-3.0	-18.1	-8.8	-11.1	-7.0	-4.8	-3.4	-6.8	-1.1

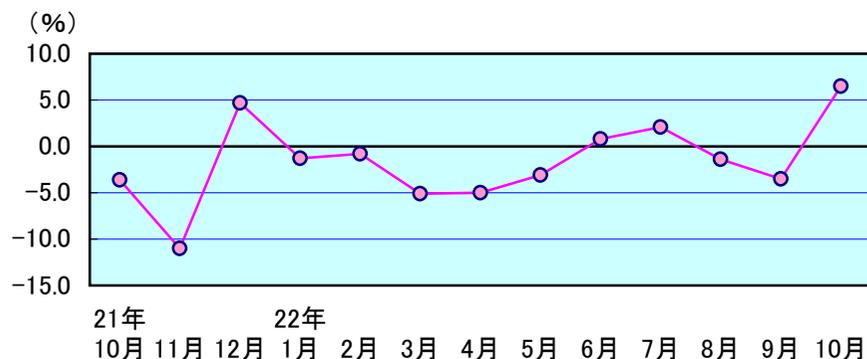
2 身回品

弱含みとなっている

売上高は前年同月比6.5%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲14.3から▲42.9となった。

一部企業で限定品の売上げが好調なことから売上額が前年同月を上回るなど、全体としても前年同月を上回っているものの、依然として状況に変化はなく、弱含みとなっている。

身回品売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
身回品	-3.6	-11.0	4.7	-1.3	-0.8	-5.1	-5.0	-3.1	0.8	2.1	-1.4	-3.5	6.5

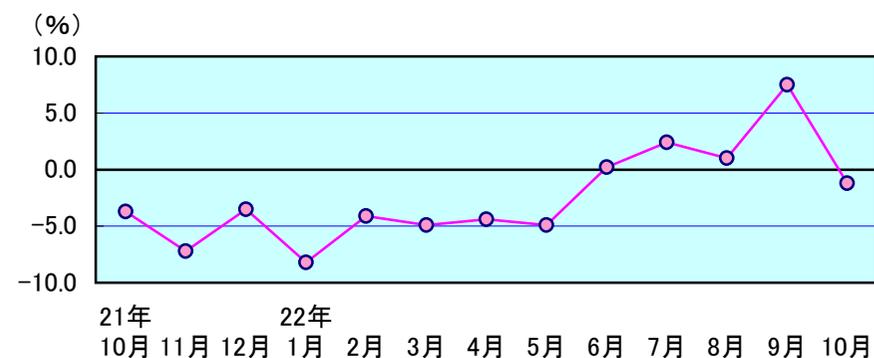
3 飲食料品

たばこの駆け込み需要の反動により売上額が減少

売上高は前年同月比1.2%減。3カ月先の業況見通しD Iは▲38.5から▲53.8となった。

コンビニや一部スーパーにおいて、たばこの駆け込み需要の反動により、売上額が減少した。

飲食料品売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
飲食料品	-3.7	-7.2	-3.5	-8.2	-4.1	-4.9	-4.4	-4.9	0.2	2.4	1.0	7.5	-1.2

サービス業の動向

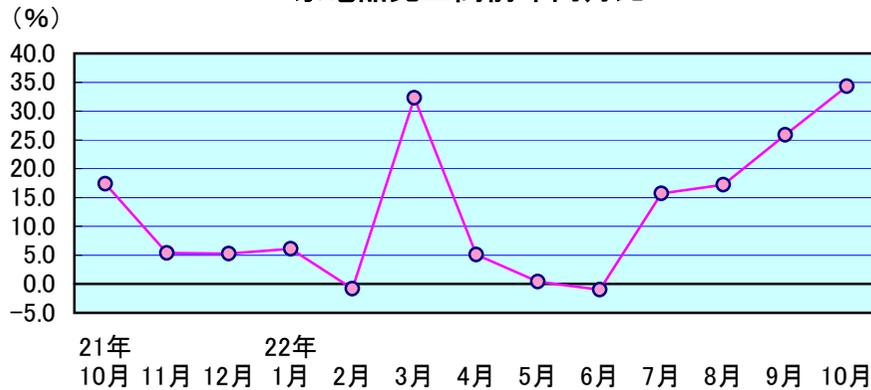
4 家電品

エコポイント対象商品の売れ行きが好調

売上高は前年同月比34.3%増。3カ月先の業況見通しD Iは25.0から▲50.0となった。

家電エコポイント半減に伴う駆け込み需要により、薄型テレビなどのエコポイント対象商品の売れ行きが好調であり、売上額は前年同月を大幅に上回った。

家電品売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
家電品	17.4	5.4	5.3	6.1	-0.8	32.3	5.1	0.4	-1.0	15.7	17.2	25.9	34.3

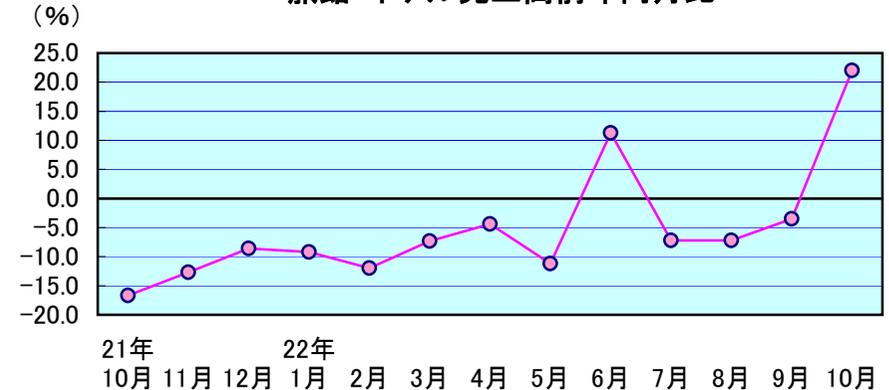
1 旅館・ホテル

弱めの動きとなっている

売上高は前年同月22.0%増。3カ月先の業況見通しD Iは▲13.3から▲53.3となった。

一部企業において、婚礼部門で件数を多く獲得できたことに加え、宿泊部門で大型イベント開催により客数が増加したことから、売上額は前年同月を上回った。

旅館・ホテル売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
旅館・ホテル	-16.7	-12.7	-8.6	-9.2	-12.0	-7.3	-4.4	-11.2	11.3	-7.2	-7.2	-3.5	22.0

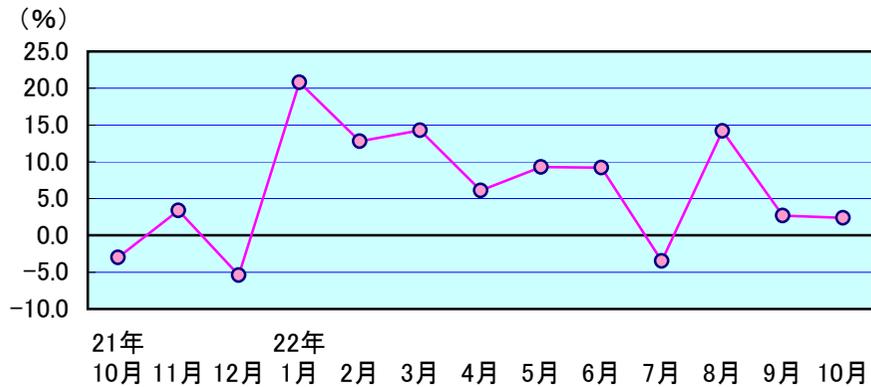
2 その他サービス

やや弱含みとなっている

売上高は前年同月比2.4%増。3カ月先の業況見通しDIは▲30.8から▲23.1となった。

一部運輸業で、自動車関連部品の生産増に伴い貨物輸送量が増加しており、引き続き好調を維持していることから、全体の売上額を押し上げた。

その他サービス業売上高前年同月比



	21年 10月	11月	12月	22年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
その他サービス	-3.0	3.4	-5.4	20.8	12.8	14.3	6.1	9.3	9.2	-3.5	14.2	2.7	2.4